ONE for ALL 6月号

Vol.72

J-LEASE COMPANY NEWSLETTER

2019 June

世界の風景　ー日本　佐賀県　浜野浦の棚田ー

the CEO column

【社長近影 / 2019 年 4月1日 入社式にて】

title：
平成31年度入社式　社長訓示

当社新卒第9期生の皆さん、入社おめでとう!

まずもちまして、新元号「令和」元年の記念すべき年に、晴れて入社された皆さんを、ジェイリース全社員を代表して心より歓迎いたします。

皆さんは既に新社会人になるための研修に取り組まれていることでしょうが、入社研修は体験してそれで終わりというものではありません。今回の研修を配属先で最大限に活かしていくことが、早期に自身の夢を実現するということになります。「この研修で身につけた教えを100%現場で発揮する」いう気概で習得に励んでください。

先ほども触れましたが、新元号は「令和」に決定いたしました。

令和には、「悠久の歴史を誇る日本で、人々が美しく心を寄せ合う中で文化を育み、明日への希望に満ちあふれたそれぞれの美しい花を大きく咲かせる日本でありたい」という意味が込められているとのこと。

現在の元号は時の内閣が決定しますので、その思いが反映されます。

「行く末までも平和で心豊か、明るい意気揚々とした日本国を築いていきたい」という思いが満ち溢れ、私は素晴らしい元号であると思いましたが、皆さんはいかがでしょうか?

ジェイリースも、この令和の時代に大輪を咲かせる企業に成長しなければなりませんし、皆さんもジェイリースでの仕事を通じて、想像力のある心豊かな社会人に成長していただきたいと思います。

当社には、志高く頑張る社員、又年齢、性別、キャリアに関係なく、頑張る社員を正当に評価し登用する素晴らしい人事制度が整っています。

第9期生の皆さんからも、一日も早く、ジェイリースの明日を担う素晴らしいリーダーが誕生しますよう、皆さんの奮闘に大いに期待して私の訓示といたします。

2019年 4月1日
ジェイリース株式会社
代表取締役社長　CEO　　中島　拓

トップ会談

～浅田飴のDNAは「良薬にして口に甘し」～

株式会社浅田飴　代表取締役社長　堀内 邦彦 様

堀内 邦彦（ほりうち くにひこ）
東京都出身
1956年生
1978年　立教大学経済学部卒
1995年　株式会社浅田飴　取締役就任
1996年　株式会社浅田飴　代表取締役副社長就任
2003年　株式会社浅田飴　代表取締役社長就任（現任）

中島　拓（なかしま ひらく）
大分県大分市出身
1957年生
1980年　中央大学法学部卒
2004年　ジェイリース株式会社設立
代表取締役社長就任（現任）

中島社長
本日はよろしくお願いいたします。
この度は対談をご快諾いただき誠にありがとうございました。

堀内社長
貴社は大分トリニータスポンサーの大先輩です。こちらこそよろしくお願いいたします。

中島社長
さて、貴社は明治時代から続く老舗企業でいらっしゃり、「せき・こえ・のどに浅田飴」のフレーズはとても馴染み深いです。2018年9月より大分トリニータのスポンサーになられたことはとても話題になりましたが、改めてスポンサーになった経緯をお聞かせいただけますでしょうか。

堀内社長
きっかけはSNSでした。
毎試合大声で指示を出して声を枯らす片野坂監督の姿に心を痛めた1人のサポーターが、当社の公式ツイッター宛に「監督の喉を守ってあげて」という内容の投稿をしてくださいました。それが広報担当の目に留まりコメントをしたところ、そのやり取りをご覧になった大分トリニータさんの方からすぐにご連絡をいただきました。
はじめに当社の製品をお届けしたのですが、片野坂監督はそれを持って試合に出てくださいました。実は私はその段階で広報担当者から「大変なことになっています！」と報告を受け、状況を知りました。その後、大分トリニータさんに色々とお話を伺う中で、是非我々も力になりたいと思い、2018年9月にスポンサー契約をする運びとなりました。

中島社長
サポーターの投稿が結んだご縁でここまでの関係になられた、SNSが発達した現代ならではのお話ですね。今や大分トリニータサポーターで貴社を知らない方はいないのではないでしょうか。
実際にスポンサーになられてからの感想はいかがでしょうか。

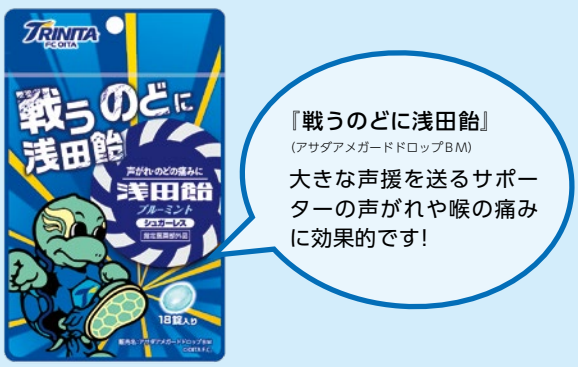
堀内社長
サポーターの皆さまが温かく迎えてくださったことがとても嬉しかったです。
2019年度のホーム開幕戦に合わせ、コラボ商品「戦うのどに浅田飴」を発売させていただいたところ、売り場には長蛇の列ができていて驚きました。更に驚いたことは大分トリニータサポーターだけでなく、他チームのサポーターの方からも反響をいただいたことです。
縁もゆかりもなかった大分県のサッカーチームのスポンサーになることで、他のチームから意見が来るのでは、という不安とは裏腹に、「Ｊリーグにようこそ」と言わんばかりの歓迎を受け、どのチームも垣根を超えサッカー界全体を愛していることが分かりましたし、このような機会に巡り合えたことを幸運に思います。

中島社長
大分トリニータのサポーターは素晴らしいですね。何より大分トリニータというチームは以前からファールの少ない紳士なチームなんです。その精神や暖かさはサポーターにも伝統的に引き継がれていますね。

堀内社長
そうですね。
また、当社は「声」という分野で文化や伝統のお手伝いをしてまいりました。これまでスポーツ界とはあまりご縁がなかったのですが、今回このような形でお手伝いが出来たということは当社にとって新たな発見でしたし、スポンサーになったことは大変有意義でした。

中島社長
商売はいつどこにチャンスが舞い降りるかわからない、参考になるお話です。
今季の大分トリニータはとても調子が良いですね。私もアウェイ戦ではゴール裏席で、タオルマフラーを掲げ、声を張り上げて応援しますが、あの一体感が何とも言えず楽しいんです。

堀内社長
　私はDAZNで観戦する他、昨季の最終戦は大分トリニータさん主催の東京観戦会に伺いました。J1昇格が決まった瞬間はサポーターの皆さまと涙しました。
　今季のホーム開幕戦は昭和電工ドームで観戦しましたが、ホーム戦の雰囲気・迫力は画面越しに見るものとはまったく違いますね。私はまだまだサッカー初心者ですので、詳しいルールは勉強中ですが、いつもハラハラドキドキ楽しんでいます。
中島社長
　当社は2011年に大分トリニータとオフィシャルパートナー契約を締結し現在に至っています。
　当時、何か地域の社会貢献活動が出来ないかと考えていたところ、是非大分トリニータのスポンサーに、との声を多くいただいたことがきっかけです。私もそれまではサッカーに興味はありませんでしたが、今では時間を見つけてホーム戦やアウェイ戦にも足を運ぶようになりました。サッカーをはじめスポーツは人々に元気を与えるものだと日々感じています。
堀内社長
　長きにわたって支援されてきたのですね。J3からJ1まで波乱万丈だったと存じますが、それが報われてJ1に昇格した際の貴社の喜びもひとしおだったと存じます。
中島社長
　ありがとうございます。
　冒頭にも申し上げましたが、貴社は明治時代から130年続く老舗企業でいらっしゃり、堀内社長は6代目とのことですが、歴史の深い会社で社長に就任されてから重要視されたことなどお聞かせいただけますでしょうか。
堀内社長
　私は別の業界で働いていたこともあり、歴代とは違う視点で会社を見ることができたと思います。その中で会社の課題が目に見えてわかりました。最初に感じたことは、会社の雰囲気が明るいとは言えなかったことです。
　当時は「浅田飴」とダイエット甘味料「シュガーカット」の２本柱で売上の大半を占めていました。つまり昔からあるもので「守り」の体制に入っており、それが会社に活力がない１つの要因でした。そこからは新たな主力商品を作ることを目標に、商品開発に全力を注ぎました。今ではアニメキャラクターをパッケージに起用したお子さま向け製品が主力商品に育ちつつあります。
中島社長
　そうですか、新商品をヒットさせるのは大変な苦労がおありでしょうね。
堀内社長
　それは少なからずありますが、守りから攻めの体制に変わったことで社員の活気も出て会社が明るくなったことは収穫でした。
　更には大分トリニータさんのスポンサーを始めたことで、社員もサッカーに夢中になり、試合があった翌週は皆で楽しそうに話をしています。会社内に共通の話題ができたことも活力向上に繋がりました。
中島社長
　とても大胆な改革ですね。やはり違う視点からものを見ることは重要ですね。古くから続く会社で新しい製品を開発することは、それが受け入れられるか、戸惑いもあり、勇気が必要と思います。会社を経営される際に心がけてらっしゃることはありますか。
堀内社長
　「良薬にして口に甘し」というキャッチコピー、これが当社のＤＮＡです。
　当社は130年前の創業時から「薬が苦手な人にも服用しやすいお薬を」と考えてきた会社です。明治時代に作られたキャッチフレーズですが、そのＤＮＡが会社の根幹として今に続いています。時代のニーズに寄り添いつつも、服用しやすさと薬としての効き目は変わらない、そんな商品をお客さまに提供することが当社の使命です。
中島社長
　良薬にして口に甘し。それが130年もの間、貴社の社員に浸透しているのですね。
　確かに「戦うのどに浅田飴」はとってもなめやすいですよね。
堀内社長
　医薬部外品ですので用法・用量にはお気をつけください。
　ジェイリースさんは東証一部上場企業でいらっしゃいますが、大分の上場企業として地元の期待も高いことでしょう。
中島社長
　保証会社としての信用力を高める目的で上場を目指しましたが、上場を果たすと達成感より責任感を強く感じています。今後は東証一部上場企業として真価が問われます。堀内社長が貴社の長い歴史を尊重しつつも、変化を恐れず大きな改革をしたように、当社も過去の成功体験にとらわれず「チェンジDNA」を合言葉とし邁進していく所存です。
　最後に今後のビジョンをお聞かせいただけますか。
堀内社長
　当社は主にのどのお薬を扱っている会社ですので冬場商品がメインにはなるのですが、夏場にもなにか主力となるような商品を開発したいと考えています。
　当社は声という分野でお手伝いをしたい想いが強く、これまでも落語や声優を絡めたイベントを開催し、とても楽しんでいただけています。
　また、「スポンサーになってください」というSNS投稿を拝見した際は、第一に当社を知っていただいているという点がとても嬉しかったです。今後もそういった素敵なご縁を頂戴できるよう、活動を続けてまいります。
中島社長
　今日は貴重なお話をありがとうございました。当社は今期で創立16年のまだまだ若い会社ですが、貴社のような100年企業を目指して今後も努力してまいります。
　機会があれば一緒に大分トリニータを応援に行きたいですね。
堀内社長
　そうですね、是非“声を張り上げて”一緒に応援しましょう。
中島社長
　本日はありがとうございました。



寄稿コラム

元気の種を育ててみませんか

“117万分の1”の、幸せのために

NPO法人女性自立の会　理事長　有田宏美氏

ここ数年、奨学金セミナーで各地の大学、専門学校、高校で講演する機会が増えました。高校から高等専門学校（大学・短大・専門学校）への進学率は80%を超え、過去最高を記録しています。

日本学生支援機構の調査によると、貸与型奨学金制度が普及したことで、学生の約37.7%（2.7人に1人）が奨学金を利用していると報告されています。

経済的に恵まれなかった学生にも就学の機会が増えたわけですから、ここまでは何の問題もありません。奨学金の問題は「卒業した後」にあります。貸与型の奨学金は「借金」ですから、当然に返していかなければなりません。4年制の大学で最大限利用すると、卒業後500万円を超える負債を抱えます。毎月の返済額は25,000円で、返済期間は20年にも及びます（救済措置を利用すると50歳を超えてもなお、奨学金債務を抱えていることもありえるのです）。

当然に支払えない人も出てきます。その場合は、ペナルティがあって、3か月延滞すると個人信用情報機関に登録されます。その数は2013年には1万件程でしたが、4年後の2017年には2万件を超え、倍増しています。

ところで、このペナルティ（個人信用情報機関登録）は、延滞した場合だけで、正常に返済していると登録されることはありません。数百万円もの「見えない借金」を抱えた人が返済や生活に窮した時、本来は総量規制で借りられない人であっても、お金を借りられてしまうということがおこります。現在、奨学金の利用が終わって返済義務を負っている人は、400万人にのぼっています。私が主催する会にも、昨年頃から奨学金債務を抱えた相談が増えてきています。

学生・生徒には、貸与型奨学金の利用について、親任せにせず、家族でしっかりと話し合うこと。家計管理の習慣を身に付けること。奨学金の借入れはできるだけ少なくしようと話しています。

この年代の1学年は117万人程です。一人ひとりに将来があって、無限大の可能性を秘めています。子どもたちの真剣な眼差しを前に話をしているときの私は、すっかり母親の気分です。

誰だって、かけがえのない、未来ある子どもなのです。

有田　宏美 氏
（ありた　ひろみ）

女性の心の支援会「特定非営利活動法人 女性自立の会」理事長。
主に、過重債務に陥った女性のカウンセリング、家計アドバイスに努める。同時に債務問題未然防止活動としての消費者教育にも力を注いでいる。
著書に「人生をやり直すための63の方法」（評言社）、監修「どうしても貯められない!!あなたのための今年こそ100万円貯める貯金生活」（大和書房）等がある。

☆新ブログ開設☆

NPO法人女性自立の会ブログ「スタッフつれづれ日記」
http://blog.canpan.info/joseijiritu/

ジェイリース
J·LEASE CO., LTD.